



# ほうらい

## 教育目標

- かしこく
- やさしく
- たくましく

一関市立猿沢小学校  
令和5年 7月14日  
第16号 文責：亀丸

## 着衣泳を実施しました

13日に1学期の水泳学習のまとめとして、低学年・中学年・高学年に分かれ、着衣泳を実施しました。とてもいい天気で絶好の水泳学習日和でした。

体育の学習では様々な運動を学習しますが、その中で水泳は自分の身を守るための技能として、とても大切なものです。万が一海や川に落ちたとき、自分の命を守る力を高めるために着衣泳の学習を実施しています。「安全確保につながる運動」は高学年の学習内容ですが、全校の子ども達に、水を吸った衣服はとても重いことや、水着だけの時と違って衣服を身に付けていると思うように体が動かないことなどを実感させることを目的に、それぞれの学年で内容を工夫し実施しました。

本当にそうなった場合冷静でいることはとても難しいことですが、「背浮き」か「ラッコ浮き」で泳がず浮き続けて助けを待つことや、服や靴は脱がず浮力のある物があればそれをお腹に抱えることを確認しました。



ペットボトルを抱えて浮く中学年



水を吸った衣服の重さを感じる低学年



脱力して浮き続ける高学年

## 税金について学びました

6年生を対象に租税教室を実施しました。これは租税の仕組みと重要性、そして税金が社会に果たす役割について学ぶものです。当日は、公益法人一関地区法人会大東支部長の足利徳夫様、青年部会幹事の鈴木哲様、嶽間沢和也様に来ていただき、学習を進めていただきました。

最初に税にはどんなものがあるかについて考えました。税について社会科ですでに学習していたので、結構知っていました。それでも税金が50種類近くあることを知りみんな驚いていました。

次に税がなくなった場合自分達の暮らしがどうなるのかについて、ビデオとクイズで学習しました。学校や公共のサービス、道路や橋などの修繕がなくなり、安全・安心で快適な生活ができないことを学びました。

最後に1億円のレプリカを手にとりました。本物の1億円分の紙幣だと約10kgあるそうです。子ども達はその重みを感じ取っていました。

税の必要性について討論会をしていた6年生。その学びをより深め確かな思いに高めた子ども達でした。

